

# 介護予防等の現状について

# 介護保険以外のサービス

## 7-1 いつまでも元気でいきいきと活躍するために

### 1 健康診査等の実施

#### (1) 結核レントゲン検診

65歳以上の方に対して結核検診を実施しています。

図表3-71 結核レントゲン検診

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数(人)	2,995	2,619	2,891

(注) 肺がん検診のみの受診者も含む。

資料：市健康づくり課調べ

#### (2) 各種がん検診

がんの早期発見、治療のため、胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんの検診を実施しています。対象者は胃がん、大腸がん、肺がんは40歳以上、乳がんは40歳以上の女性、子宮頸がんは20歳以上の女性です。受診率は低下傾向にあります。

図表3-72 がん検診

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
胃がん検診	受診者数(人)	1,421	1,187	1,105
	受診率(%)	12.4	10.4	9.7
大腸がん検診	受診者数(人)	2,263	2,077	2,005
	受診率(%)	19.8	18.1	17.5
肺がん検診	受診者数(人)	1,216	1,154	1,105
	受診率(%)	10.6	10.1	9.7
乳がん検診	受診者数(人)	1,109	1,053	1,059
	受診率(%)	31.9	30.1	29.3
子宮頸がん 検診	受診者数(人)	1,170	985	993
	受診率(%)	27.5	26.2	24.0

資料：市健康づくり課調べ

### (3) 特定健康診査・特定保健指導

糖尿病等の生活習慣病を早期発見するため、40歳から74歳までの国民健康保険加入者を対象に特定健康診査を実施し、保健指導該当者には保健指導を行っています。受診率は上昇しています。

図表 3-73 特定健康診査・特定保健指導

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
特定健康診査	対象者数 (人)	5,677	5,466	5,993
	受診者数 (人)	2,631	2,542	2,891
	受診率 (%)	46.3	46.5	48.2
特定保健指導	利用率 (%)	83.1	78.8	70.6
	終了率 (%)	65.8	67.7	52.3

資料：市健康づくり課調べ

### (4) 後期高齢者健康診査

後期高齢者に対する健康診査を実施しています。事後指導として、医療機関受診勧奨者への受診勧奨通知（集団健診受診者のみ）を行っているほか、希望者には保健指導を行っています。受診率は上昇しています。

図表 3-74 後期高齢者健康診査

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診券交付者数 (人)	2,101	1,607	1,603
受診者数 (人)	640	510	565
受診率 (%)	30.5	31.7	35.2

資料：市保険課調べ

### (5) 健康相談、栄養相談

健診の結果説明会を廃止し、より重症度の高い方への個別訪問に変更したため、健康相談および栄養相談の相談者数は減少しています。健診結果からの相談だけでなく、市民から希望があった場合や、医師から依頼があった場合にも個別で対応しています。

図表 3-75 健康相談、栄養相談（面接または訪問）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ相談者数 (人)	212	167	98
個別相談者数 (人)	100	84	44
イベント等における相談者数 (人)	47	40	11

資料：市健康づくり課調べ

## 2 発症予防・重症化予防

### (1) 特定保健指導以外の対象者への保健指導

生活習慣病の治療をしている高齢者が主体的な生活改善を継続できるよう、重症化予防のための個別支援を実施しています。また、湖北地域クリティカル連携パス(脳卒中)で連絡のあった脳卒中患者や、第2号被保険者(40歳～64歳)の要介護認定者等に対しても脳卒中の再発予防、重症化予防に向けて、保健指導を実施しています。

図表3-76 特定保健指導以外の対象者への保健指導

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対 象 者 数(人)	530	488	507
初回指導利用者数(人)	418	382	391
利 用 率(%)	78.9	78.3	77.1

資料：市健康づくり課調べ

### (2) 慢性腎臓病対策事業

特定健康診査の結果などから慢性腎臓病ハイリスク者を選定し、透析導入の予防、遅延のための保健指導を実施しています。市内開業医、腎専門医との更なる連携強化を図る必要があります。

図表3-77 慢性腎臓病対策事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対 象 者 数(人)	92	72	103
初回指導利用者数(人)	83	56	75
利 用 率(%)	90.2	77.7	72.8

資料：市健康づくり課調べ

### (3) 糖尿病重症化予防事業

特定健康診査の結果などから糖尿病予備群やハイリスク者を選定し、良好な血糖コントロールを継続するための保健指導を実施しています。生活改善の働きかけや医療機関との連携により、支援体制の強化を図っていく必要があります。

図表3-78 糖尿病重症化予防事業（未治療者の状況）

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
該 当 者 数 (人)	114	79	87
受 診 者 数 (人)	95	72	69
受 診 率 (%)	83.3	91.1	79.3

資料：市健康づくり課調べ

### (4) 予防接種（肺炎球菌・インフルエンザ）

高齢者を対象に、肺炎球菌・インフルエンザの予防接種を実施しています。接種率は低下傾向にあり、特に肺炎球菌の接種率は30%台となっています。

図表3-79 予防接種の接種者数

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
肺 炎 球 菌	対象者 (人)	2,634	2,361	1,410
	接種者 (人)	1,430	1,167	449
	接種率 (%)	54.3	49.4	31.8
インフルエンザ	対象者 (人)	11,033	10,697	11,430
	接種者 (人)	6,711	6,082	6,432
	接種率 (%)	60.8	56.9	56.3

資料：市健康づくり課調べ

### 3 生きがい・社会参加の促進

#### (1) 地域支え合いセンターの運営

地域支え合いセンターにおいて、住民ニーズや地域資源の把握を行い、地域での支え合い活動により、地域社会における様々な生活課題の解決に向けて対応してまいります。

#### (2) ご近所元気にし隊員（介護予防サポーター）の養成

地域で介護予防活動を推進する「ご近所元気にし隊員」を養成するため、運動器や認知症についての知識や技術を習得していただく養成講座を開催しています。令和元年度は124人となっており、年ごとに養成数は増加しています。

図表3-80 ご近所元気にし隊員（介護予防サポーター）の養成

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人 数 (人)	59	89	124

(注) 平成30年度から「ご近所元気にくらし隊員」に名称を変更し、講座内容を拡充しています。

資料：市くらし支援課調べ

#### (3) 老人クラブ活動などの地域活動団体への支援

高齢者の社会参加・生きがいづくり・健康づくりの中心的地域活動組織である老人クラブ連合会加入の老人クラブは令和2年4月1日現在 24 クラブで、会員数は 1,802 人です。クラブ数、会員数ともに急激に減少した主な要因は、平成 29 年度末で米原老人クラブ連合会が解散し、令和元年度末で山東老人クラブ連合会が解散したことによるものです。

図表3-81 老人クラブ

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
単位クラブ数	70	65	34	29	24
対象人口(人)	10,950	11,033	11,122	11,238	11,311
会 員 数(人)	5,054	4,748	2,606	2,292	1,802
加 入 率(%)	46.2	43.0	23.4	20.4	16.0

(注) 各年度4月1日現在 資料：市くらし支援課調べ

#### (4) シルバー人材センターの活性化の促進

高齢者の生きがいのある生活の実現と就労の機会を確保を図るため、シルバー人材センターが設立されています。

登録者数、受注件数、受注金額ともに横ばい状態にあります。令和元年度の実績は、延べ就労日数が59,078日、就労実人員が629人、受注金額が約2億3,700万円です。就労実人員1人当たりの年間就労日数は83日で、配分金は約33.5万円です。

仕事内容としては、「掃除、除草等」の一般作業が最も多く、金額としては「植木の手入れ・ペンキ塗り等」も多くなっています。

図表3-82 シルバー人材センター

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
登録者数	730人	803人	784人	798人
男性	465人	506人	496人	499人
女性	265人	297人	288人	299人
受注件数	4,287件	4,751件	4,656件	4,447件
公共事業	526件	609件	638件	451件
民間事業等	1,703件	1,898件	1,873件	1,743件
一般家庭	2,058件	2,244件	2,145件	2,253件
延べ就労日数	55,366日	59,831日	60,048日	59,078日
就労実人員 (就業率)	644人 (88.2%)	672人 (83.7%)	642人 (81.9%)	629人 (78.8%)
受注金額	245,036千円	267,267千円	245,800千円	236,716千円
公共事業	38,072千円	36,336千円	37,992千円	33,082千円
民間事業等	171,522千円	190,187千円	171,391千円	166,363千円
一般家庭	35,442千円	40,744千円	36,417千円	37,271千円
配分金	219,338千円	237,653千円	214,535千円	210,543千円
就労実人員1人当たりの配分金	340,587円	353,651円	334,167円	334,727円
就労実人員1人当たりの年間就労日数	85日	89日	85日	83日

図表3-83 シルバー人材センターの仕事の内容（令和元年度実績）

仕事の内容	職 域	受注件数	契約金額
植木の手入れ・ペンキ塗り等	技術・技能	972件	47,464,735円
封筒宛名、賞状書き等	事務整理	20件	1,014,365円
公園、駐車場・駐輪場管理等	管理	250件	26,691,683円
配達、店番、検針等	折衝外交	147件	27,699,234円
掃除、除草等	一般作業	1,992件	110,858,253円
家事手伝い、子育て支援等	サービス	1,066件	22,987,890円

(5) **生きがい就労創出事業【★重点的な取組①】**

高齢者の働く場を創設しようとする事業主体（団体・事業者）に対し、働く場の開設に伴う改修費、初度設備費等の助成を行いました。事業は3年間で終了しました。

図表3-84 生きがい就労創出事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
米原市シルバー人材センター	500千円	—	—
株式会社 A-Hearts	—	500千円	—

(6) **出前講座、まなびサポーター制度の充実**

高齢者の生きがいづくりや学習意欲の向上を図るため、学んだ成果を地域社会に還元できるよう「まなびサポーター制度」を運用しています。

図表3-85 出前講座

単位：件

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出前講座	268	246	236
まなびサポーター制度	92	81	70

(注) 出前講座は市、社協、民間が実施。まなびサポーター制度は個人が登録して、例えば茶道などを学びたいグループからの要望を受け、登録者が講義を行うもの。

図表3-86 講座内容

講座名	担当部署	平成29年度	平成30年度	令和元年度
介護保険ってななに	くらし支援課	2	0	1
やってみよう！まいばら体操	くらし支援課	6	8	6
転倒予防	くらし支援課	5	9	7
認知症ケアは十人十色	くらし支援課	1	—	—
認知症を食い止める！～鍵を握る生活習慣病～	くらし支援課	2	—	—
フレイル（虚弱）、サルコペニア（筋肉減弱症）を予防しよう！	くらし支援課	2	1	5
やってみよう！歯とお口の健康づくり	くらし支援課	3	0	2
まるわかり！！介護保険講座	社会福祉協議会	2	0	1
始めよう！元氣いきいき介護予防	社会福祉協議会	25	24	21
認知症ってななに ～思いを理解して関わるために～	社会福祉法人ひだまり	2	1	0
認知症を予防しよう ～脳を元氣にいきいきと～	社会福祉法人ひだまり	3	3	1
地域密着型サービスってななに ～ケアマネージャーから話を聞こう～	社会福祉法人ひだまり	0	0	1
サロンで活用できるゲームや体操 ～介護予防の実践～	社会福祉法人ひだまり	11	13	11
知っておきたい健康講座 ～血圧や生活習慣病について～	社会福祉法人ひだまり	0	2	1
いつまでも自分の足で歩きましょう	社会福祉法人ひだまり	3	1	2
チェアヨガを活用し介護予防、廃用症候群予防につとめましょう	社会福祉法人ひだまり	—	—	4



認知症ってどんな病気？(H29. H30なぜ認知症になるのか)	特別養護老人ホーム 坂田青成苑	1	2	2
---------------------------------	--------------------	---	---	---

資料：市生涯学習課調べ

### (7) 生涯を通じたスポーツ活動の推進

総合型地域スポーツクラブでの運動教室や出前講座（ニュースポーツ）によるスポーツ活動や健康づくり等に取り組んでいます。

図表 3-87 運動教室・出前講座

単位：件

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
出前講座	16	11	6
スポーツアドバイザーによる運動教室など	78	99	90

### (8) 世代間交流の機会の確保

地域の高齢者を保育所・幼稚園・認定こども園に招いて交流したり、近くのデイサービス等の高齢者施設やサロンへの訪問を行うなど、地域の実態に応じて高齢者と園児との交流を計画的に取り組んでいます。

図表 3-88 園との世代間交流

単位：園

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
園との世代間交流	12園	11園	11園

(注) 平成30年度から、園を統合して米原市立まいばら認定こども園が開園したため、市内全園が12園から11園となっています。

### (9) 敬老祝金事業

高齢者の長寿をお祝いし、敬老祝金を贈呈しています。なお、令和2年度から、88歳該当者の祝金を減額、95歳該当者の祝金を廃止しました。

図表 3-89 敬老祝金事業

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	金 額
88歳	257	280	253	5千円→3千円
95歳	77	56	85	1万円→0円
100歳	10	13	21	5万円
合 計	344	349	359	

資料：市くらし支援課調べ

## 7-2 とともに地域で支え合うために

### 1 介護予防の充実

#### (1) 地域の通いの場での介護予防活動と専門職の派遣

地域の通いの場における介護予防活動を支援するとともに、専門職を派遣して、啓発、個別相談等を行っています。

図表 3-90 地域介護予防活動支援事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ご近所元気隊教室事業（団体）	7	-	-
介護予防専門職派遣事業（回）	17	27	30
歩楽るん教室（か所）	3	-	-

資料：市くらし支援課調べ

#### (2) 短期集中運動指導事業（訪問・通所）の実施

訪問または通所において、理学療法士、作業療法士等が短期集中的に、運動・生活指導を行う短期集中運動指導事業については、令和元年度の利用者は27人となっています。

図表 3-91 短期集中運動指導事業の利用状況

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数(人)	24	11	27

資料：市くらし支援課調べ

図表 3-92 短期集中運動指導事業の受託事業所

- ・ライセル株式会社リハビリデイサービスこころは
- ・医療法人悠悠会 通所リハビリテーションいそ
- ・公益社団法人地域医療振興協会 近江診療所
- ・公益社団法人地域医療振興協会 地域包括ケアセンターいぶき

#### (3) 地域リハビリテーション活動支援事業

地域における介護予防の取組機能を強化するための地域リハビリテーション活動支援事業として、「元気の一步事業」を行っています。

図表 3-93 地域リハビリテーション活動支援事業（令和元年度）

区 分	内 容	実 績
元気の一步事業	サルコペニア（加齢による筋肉減弱症）やフレイル（虚弱）を予防するため、ウォーキングの促進を行う。	7人

資料：市くらし支援課調べ

#### (4) 介護予防体操（まいばら体操）の普及啓発

まいばら体操の普及と啓発を図るため、出前講座による体操教室を行っています。

図表 3-94 介護予防体操（まいばら体操）の普及啓発 単位：回

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
開催回数(回)	7	6	6

資料：市くらし支援課調べ

#### (5) 日常生活活動から介護予防へつなげる事業

ウォーキング、買い物を通した介護予防活動を推進しています。

図表 3-95 日常生活活動から介護予防へつなげる事業 単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
元気の一步事業	5	3	7
買い物生活リハビリ事業		5	4

資料：市くらし支援課調べ

#### (6) 生活管理指導員派遣事業

非該当（自立）となった高齢者のうち、社会適応が困難な人に対して、生活管理指導員（ヘルパー）を派遣し、日常生活に対する指導、支援を行うものです。生活管理指導員派遣事業については、過去3年間利用実績はありません。

#### (7) 生活管理指導短期宿泊事業

非該当（自立）、要支援、要介護1となった高齢者のうち、社会適応が困難で家に閉じこもりがちな高齢者等に対して、養護老人ホーム等の空きベッドを活用して一時的に宿泊させ、生活習慣等の指導を行うとともに体調調整を図るものです。生活管理指導短期宿泊事業については、過去3年間利用実績はありません。

#### (8) 出前講座での啓発

介護予防や認知症等に対する正しい知識の普及と啓発を行うため、出前講座を行っています。令和元年度は4種類のメニューを17回行いました。

図表 3-96 出前講座開催回数（平成30年度・令和元年度） 単位：回

メニュー	転倒予防	まいばら体操	フレイル予防	お口の健康	合 計
平成30年度	6	6	1	0	13
令和元年度	6	6	3	2	17

資料：市くらし支援課調べ

## 2 生活支援サービスの充実

### (1) 配食サービス事業

おおむね65歳以上のひとり暮らしまたは高齢者世帯で、食事の確保が困難な人に食事を提供し、併せて安否確認を行っています。

図表3-97 配食サービス事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
延べ配食回数（回）	26,114	24,207	18,783
利用者数（人）	113	82	114

資料：市くらし支援課調べ

### (2) 外出支援サービス事業

寝たきりまたは車いすを利用しているおおむね65歳以上の人で、一般交通機関の利用が困難な人に対し、リフト付き車両による送迎を行ってきました。なお、この事業は、令和2年8月末をもって廃止し、介護タクシー等への移行を推進します。

図表3-98 外出支援サービス事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対象者数（人）	113	54	58
利用件数（件）	348	334	191

資料：市くらし支援課調べ

### (3) 高齢者住宅小規模改造助成事業

日常生活動作の低下に対応するための住宅改修について、介護保険サービスの住宅改修費を超えた経費の一部を助成しています。

図表3-99 高齢者住宅小規模改造助成事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用件数（件）	22	14	11

資料：市くらし支援課調べ

### (4) 高齢者自立支援住宅改修事業

介護認定を受けていない低所得のひとり暮らしまたは高齢者のみの世帯に対し、転倒等を予防し、在宅で健康に生活を送ることができるように支援するため、住宅改修の費用の一部を助成する事業です。過去3年間の利用実績はありません。

#### (5) 訪問理容サービス事業

在宅の寝たきり高齢者等に対して、訪問による理容サービスを行っています。

図表 3-100 訪問理容サービス事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
対 象 者 数 (人)	25	27	27
利 用 件 数 (件)	44	37	32

資料：市くらし支援課調べ

#### (6) 日常生活用具給付事業

在宅の寝たきり高齢者、ひとり暮らし高齢者等を対象に、電磁調理器、火災警報器、自動消火器等の給付を行う日常生活用具給付事業については、過去3年間の利用実績はありません。

#### (7) 高齢者等住宅除雪費助成事業

65歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯や障がい者世帯の人で自力での除雪が困難な人に対して除雪の経費の一部を助成しています。平成30年度、令和元年度の利用はありませんでした。

図表 3-101 高齢者等住宅除雪費助成事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利 用 件 数 (件)	3	0	0

資料：市くらし支援課調べ

### 3 地域福祉の推進

#### (1) 社会福祉協議会における支え合い体制づくりへの支援

住民相互の支え合い活動の充実を図るため、地域カルテ、暮らしに役立ち・便利につながる情報（広域社会資源台帳）の整備を進めました。また、活動者のスキルアップを目的にした講座を3回実施しました。

#### (2) 住民主体のサービスの推進【★重点的な取組③】

「地域お茶の間創造事業」を推進し、住民主体のサービスの充実を支援しています。平成元年度の登録団体は33団体となっています。

図表3-102 地域お茶の間創造事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域お茶の間創造事業団体	24	26	33

#### (3) 地域支え合いセンター

多様な主体が参加する広域的な支え合いの仕組みづくりを進める拠点として、地域支え合いセンターを設置しています。運営は米原市社会福祉協議会に委託しています。

地域支え合いセンターでは、地域での支え合い活動を推進するため、生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）が中心となって、情報交流の場である「協議体」の設置を推進しています。

また、地域課題解決の取組として、居場所づくりに取り組む団体と地元商店とのマッチングによる移動販売、地域づくりに取り組む活動者が交流できる「まいばらまると交流会」を開催しています。

図表3-103 協議体の会議の開催回数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
定期的な情報の共有・連携強化の場（2層：日常生活圏域の会議の開催回数）	-	4回	6回

図表3-104 地域支え合いセンター

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度
地元商店による移動販売	登録事業者数（か所）	12	14	14
	実施回数（回）	72	441	458
	実施場所（か所）	11	17	14
まいばらまると交流会	開催回数（回）	3	2	1
	延べ参加者数（人）	118	86	28

資料：市くらし支援課調べ

#### (4) ボランティアの育成とNPO法人・団体等への支援

ボランティアセンターに登録のあるボランティアは、令和元年度1,766人となっています。社会福祉協議会では、養成講座を開催するなどボランティアグループ等の育成、支援を行っています。

図表3-105 ボランティアの登録・養成

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
ボランティア登録数(団体・個人)(人)	1,749	1,767	1,766
ボランティア養成講座 (災害・傾聴・障がい児者に関すること) (市内ボランティア活動者向け)(回)	12	17	16

#### (5) 地域力強化推進事業

複合化・複雑化する課題に対応できる相談体制の充実に努めています。また、見守り体制を充実するため、自治体単位でネットワーク会議を開催しています。事業は社会福祉協議会に委託しています。

図表3-106 地域力強化推進事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
個人からの困りごとに関する相談件数 (件)	実施なし	229	269
見守りネットワーク会議開催自治会数 (自治会)	実施なし	60	57

#### (6) 相談支援包括化推進事業【★重点的な取組④】

地域共生社会の実現に向け、地域住民が抱える課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制の強化を図っています。事業は社会福祉協議会に委託しています。

図表3-107 相談支援包括化推進事業

単位：件

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
複合的な問題を抱える者に対する相談件数	平成30年度から開始 のため準備期間	11	15
支援の終結件数		4	11

#### (7) 社会福祉法人の社会貢献との連携

市内の社会福祉法人は、世代間交流事業の実施や医療、福祉、教育、地域が連携したイベントの開催により、健康増進や地域福祉の向上に貢献しています。また、福祉避難所としての機能を持っており、万一の災害に備えました。

## 4 防災・防犯・安心の体制づくり

### (1) 避難行動要支援者支援制度の推進

避難行動要支援者支援制度における台帳の更新を行っています。令和元年度における、平常時に提供する同意者名簿の登録率は82.5%となっており、年ごとに高くなってきています。

図表3-108 同意者名簿の登録率

単位：％

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
同意率	78.1	81.9	82.5

資料：市くらし支援課調べ

### (2) 個別避難計画の策定促進

自力で避難することが困難な要支援者の個別計画を作成している自治会は、平成元年度51自治会となっており、年ごとに増加してきています。

図表3-109 個別計画作成の自治会数

単位：自治会

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
個別計画作成自治会数	33	40	51

資料：市くらし支援課調べ

### (3) 高齢者等安心確保（絆バトン）事業の推進

在宅高齢者等が万が一の事態への備えや安心して生活できる環境づくりに資するよう、医療情報を保管するための絆バトン（緊急医療情報カプセル）を配布しています。令和元年度の新規配布者は120人、利用者は2,054人となっています。

図表3-110 高齢者等安心確保（絆バトン）事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
新 規（人）	41人	64人	120人
利 用 者 数（人）	1,870人	1,934人	2,054人

資料：市くらし支援課調べ

### (4) 消費者被害の未然防止

高齢者が振り込め詐欺や悪質商法による消費者トラブルに巻き込まれないよう、出前講座や啓発活動を行っています。令和元年度における消費生活に係るトラブルの相談件数は100件です。



図表 3-111 消費生活に係るトラブルの相談件数

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
消費生活に係るトラブルの相談件数	144件 うち未解決49件	調査の実施なし	100件 うち未解決26件

資料：市米原近江地域協働課調べ

## 5 外出の支援

### (1) 移動支援制度の構築【★重点的な取組②】

高齢者等の外出を支援するため、福祉有償運送を開始しました。福祉有償運送を行おうとするNPO等は、市が主宰する運営協議会で運送の必要性について合意を得たうえで、サービスを行う地域を所管する滋賀運輸支局に登録する必要があります。現在、登録があるのは、米原市社会福祉協議会、社会福祉法人ひだまり、一般社団法人大野木長寿村まちづくり会の3団体です。

図表 3-112

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福祉有償運送実施団体	1	3	3

### (2) 運転免許証自主返納後の相談・支援

免許返納により生活支援が必要になった人は警察署から連絡をもらい、訪問等で社会資源の活用や必要な人には介護認定の申請等の支援を行なっています。

## 7-3 地域包括ケアを推進するために

### 1 地域包括支援センターの機能強化

#### (1) 地域包括支援センターの適正設置【★重点的な取組⑤】

令和3年度から、統合庁舎の供用開始に合わせた体制の強化について検討を行いました。統合庁舎に市直営の基幹型を設置し、地域型2か所（委託）の体制としていく予定です。

図表3-113 地域包括支援センターの設置

単位：か所

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
基幹型（直営）	計画	1	1	1	1	1
	実績	1	1	1	1	1（予定）
機能強化型（委託）	計画	1	1	1	1	2
	実績	1	1	1	1	2（予定）

#### (2) 専門職の適正配置【★重点的な取組⑤】

地域包括支援センターに配置すべき3職種（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）については、常勤専従で配置しました。

#### (3) 総合相談支援事業の充実【★重点的な取組⑥】

複合化・複雑化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制の構築を図るため、令和2年度から職員研修を実施しています。

図表3-114 センター職員を対象とした研修会

単位：回

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
センター職員を対象とした研修会	計画	1	2	3	4
	実績	0	0	0	1

(注) 直営、委託のセンターを合わせた数

#### (4) 地域包括支援センターの周知

地域包括支援センターのチラシを、民生委員や自動車学校での高齢者講習受講者、また出前講座やアンケート実施時等で配布し周知を行っています。

## (5) 地域ケア会議の開催

地域ケア会議を、個別事例について検討する地域ケア会議を開催するとともに、個別の会議により把握した地域課題を施策に結び付けるため、市全体レベルの推進会議を開催しています。

図表 3-115 地域ケア会議

区 分		平成 29 年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
個別事例について検討する地域ケア会議					
開催回数(内、ケアプラン会議)(回)	計画	35 (24)	40 (24)	45 (24)	50 (24)
	実績	37	39	32	4
ケース件数(実件数)	計画	70	75	80	85
	実績	124	113	103	16
地域課題を検討する地域ケア会議					
開催回数(回)	計画	2	6	6	6
	実績	2	3	3	1

(注)直営、委託のセンターを合わせた数

## (6) PDCAの活用

地域包括支援センターについては、年度毎に一部事業の取組と目標に対する評価を実施し次年度に向けた課題整理を行っています。

## 2 ケアマネジャー・サービス事業者への支援

### (1) 介護予防ケアマネジメントの充実

要支援認定と基本チェックリストによる事業対象者に対して介護予防プランを作成し、必要なサービスの調整や定期的なモニタリングを行い、利用者の自立支援に向けた支援を行っています。

### (2) ケアマネジャーへの支援

地域包括支援センターの主任介護支援専門員が中心となり、ケアマネジャーの相談やサービス事業所からの相談に応じ、地域の支援者等との調整、地域ケア個別会議の開催を行っています。また、認知症対応、虐待の疑い、複合課題などの困難事例については、地域包括支援センター内で協議し、関係機関との連携を行っています。

### (3) 研修会、ケアプラン会議の開催による質の向上

定期的にケアマネジャーへの連絡会・研修会・事例検討会等を開催しています。概ね計画通りの開催となっています。主任ケアマネジャー連絡会の積み重ねにより、ケアマネジメントの質の向上のための事例検討会の場の必要性が高まってきています。

図表 3-116 ケアマネジャー研修会、ケアプラン会議等

単位：回

区 分		平成 29 年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
主任ケアマネジャー連絡会	計画	6	6	6	6
	実績	5	5	5	1
ケアマネジャー研修会	計画	3	4	4	4
	実績	4	5	4	0
事例検討会	計画	0	1	2	2
	実績	0	2	3	1
医療関係者との意見交換会	計画	0	0	1	1
	実績	2	2	1	1

(注)直営、委託のセンターを合わせた数

## 3 権利擁護の促進

### (1) 高齢者虐待防止の推進

米原市高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク会議については、9月・2月の年2回開催しています。

また、虐待防止、見守り活動の重要性などについて、市広報で啓発を行っています。

### (2) 成年後見制度の利用促進

成年後見制度利用支援事業については、令和元年度は市長申立てへの支援が4件となっています。

また、成年後見制度利用促進のための計画策定を進めています。

図表 3-117 成年後見制度利用支援事業

単位：件

区 分		平成 29 年度	平成30年度	令和元年度	令和 2 年度
申立ての支援を行った件数					
市長申立てへの支援	計画	1	2	2	7
	実績	6	5	4	
本人・親族申立てへの支援	計画	1	2	3	3
	実績	7	2	1	

(注)直営、委託のセンターを合わせた数

---

### (3) 消費生活相談窓口等との連携

消費者相談窓口での高齢者の相談から高齢者の生活支援につながったケースが2件ありました。また、生活に支障のあるケースには介護保険や地域権利擁護事業などをすすめています。

## 4 地域包括ケアの体制整備

### (1) 包括的支援体制の整備

複合化・複雑化した課題に対応するため、平成30年度から相談支援包括化推進事業を米原市社会福祉協議会に委託して実施しました。

### (2) 総合事業の体制整備と周知【★重点的な取組③】

毎年ケアマネジャー研修会を実施しており、今後もケアマネジャー研修会を実施し、情報共有を図っていく必要があります。

## 7-4 認知症になっても安心して暮らせるために

### 1 容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

#### (1) 認知ケアパスの普及・充実

令和元年12月に米原市認知症安心支援ガイド「オレンジ・まいばら」を発行しました。このガイドを相談支援関係者に配布し、また、認知症相談時に使用して、受診や介護の支援に役立てていただきました。

#### (2) 認知症地域支援推進員の配置

介護と医療の連携を強化し、認知症についての啓発、地域の人材育成、サービス調整等認知症施策を推進しています。地域包括支援センター職員が認知症地域推進員の研修等を受講し、資質向上を図っています。

図表3-118 認知症地域支援推進員

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
認知症地域支援推進員の配置	5	3	4	4

(注)直営、委託のセンターを合わせた数

#### (3) 認知症初期集中支援チームの充実

医療と介護の専門職で構成する認知症初期集中支援チームは、米原市米原近江地域包括支援センターに設置しています。認知症の人やその家族の相談に対応し、初期の支援を包括的、集中的に行い在宅生活のサポートを行っています。

図表3-119 認知症初期集中支援チーム検討委員会

単位：回

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
認知症初期集中支援チーム検討委員会	計画	2	3	3	3
	実績	2	3	3	2

#### (4) 認知症アセスメント・ケア向上事業の実施

令和元年度は、介護サービスを行う6事業所に計25回訪問し、研修会や事業所が認知症により対応に苦慮している個別ケースについて、情報収集、アセスメント、ケアの提案を事業所職員と共に行いました。また、市内介護サービス事業所に案内して、全体研修会を2回開催しました。

## 2 認知症家族介護者への支援

### (1) 「ちょっと相談所」の拡充

認知症や介護について、身近な地域で休日においても介護の専門家に相談できる「ちょっと相談所」は、令和2年7月現在、17か所に設置されています。

ちょっと相談所・認知症カフェ情報を作成し、周知を図っています。

米原市が配置要件とする専門職の配置が困難な事業所が出ていることが課題としてあげられます。

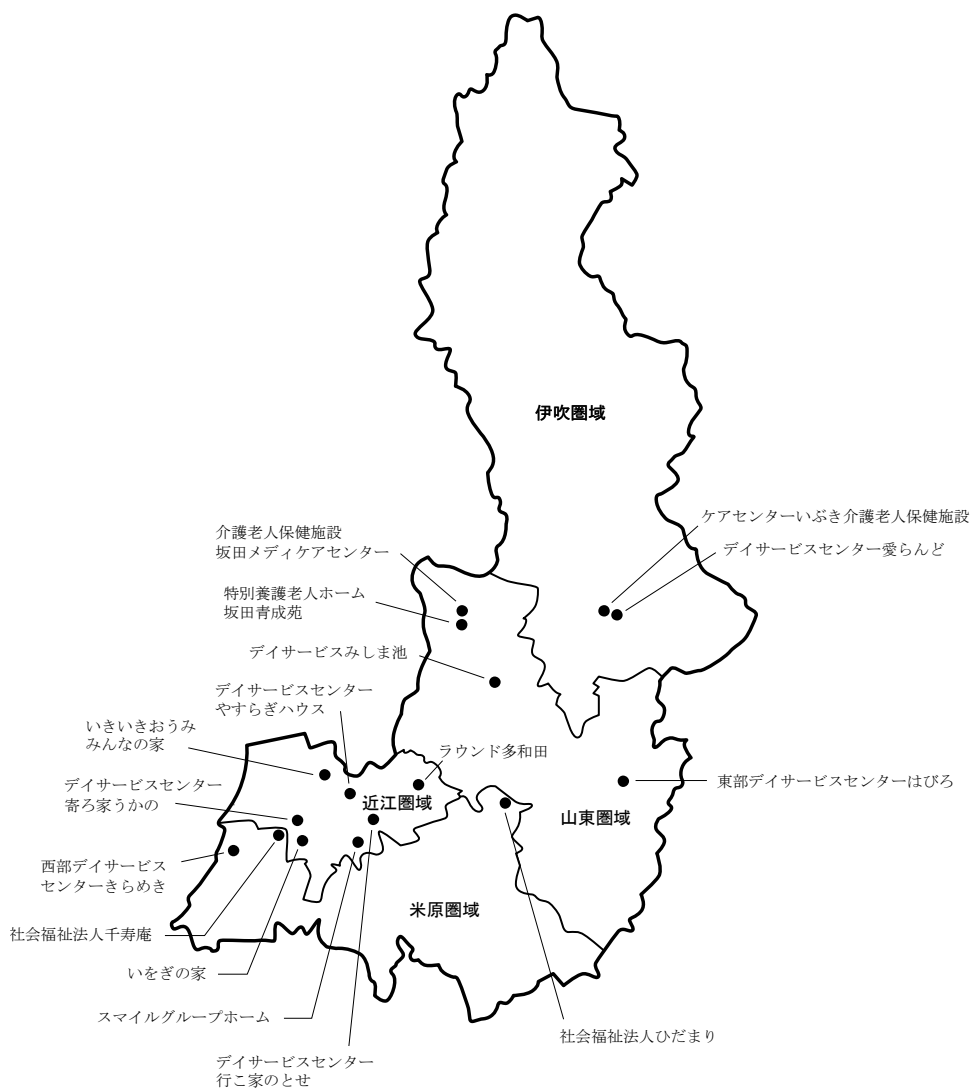
図表3-120 ちょっと相談所

単位：か所

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
事業所数	18	18	18	17

資料：市くらし支援課調べ

図表3-121 ちょっと相談所登録事業所



## (2) 認知症カフェの実施

「ちょっと相談所」を実施するサービス事業所において、認知症カフェを開催しています。令和元年度は16事業所において68回開催されています。新型コロナウイルス感染症防止への配慮が求められる中での開催が課題となっています。

図表3-122 認知症カフェ

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
開 催 回 数 (回)	97	114	68	9
事 業 所 数 (か所)	17	17	16	1

資料：市くらし支援課調べ

## (3) 認知症徘徊SOSネットワーク事業

徘徊高齢者の捜索、見守りについてのネットワークに協力いただいている登録事業所数は、令和2年度32か所です。

図表3-123 認知症徘徊SOSネットワーク事業

単位：か所

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
協力事業所数	29	30	30	32

## (4) 徘徊高齢者探知サービス事業

徘徊高齢者がGPS発信機を携帯することにより、高齢者の身の安全と家族の不安の解消を図るサービスです。令和元年度の利用はありませんでした。

図表3-124 徘徊高齢者探知サービス事業

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利 用 者 数	0	2	0

資料：市くらし支援課調べ

## (5) 若年性認知症の個別対応、啓発

認知症サポーター養成講座の中で若年性認知症についての啓発を行いました。



### 3 認知症の理解促進とやさしい地域づくり

#### (1) 小・中学生の認知症の学習機会の確保

児童・生徒が認知症に対する正しい知識を身に付ける機会として、認知症サポーター養成講座を開催しています。令和元年度は182人の受講となっています。

図表3-125 小・中学生の認知症の学習機会

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
受講者数	32	0	182	0

資料：市くらし支援課調べ

#### (2) 認知症への住民理解の向上

認知症について正しい知識を学ぶ機会を提供するため、出前講座を実施しました。

#### (3) 認知症サポーターの育成・活動支援

認知症サポーターを養成については、令和元年度の開催回数は18回、受講者数は486人となっており、受講者数累計では7,464人になります。

今後は、啓発にとどまることなく、認知症サポーターが、地域の認知症の人に対し、もう一步踏み込んだ声かけ、関わり、支援が行えるよう、活動に結びつけていくことが求められます。

図表3-126 認知症サポーター養成講座

区 分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (8月現在)
認知症サポーター 養成講座	開催回数(回)	24	21	18	0
	受講者数(人)	517	653	486	0
	受講者数累計(人)	6,325	6,978	7,464	7,464

資料：市くらし支援課調べ

#### (4) 若い世代からの健診受診の促進

20～39歳の健康診査の受診状況は次の通りであり、啓発や勧奨の効果が少なく、受診者数(受診率)は伸びていません。

図表3-127 健康診査(20～39歳)

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
受診者数	444	393	373

資料：健康づくり課調べ

## 7-5 その人に合った質の高い介護サービスを提供するために

### 1 介護サービスの充実

#### (1) 在宅サービスの充実

介護保険事業計画を、米原市公式 Web サイトに掲載するなど、情報提供を行いました。また、サービス供給体制を安定的に確保していくため、補助制度や研修等の情報を事業者へ提供を適宜行いました。

#### (2) 地域密着型サービスの整備【★重点的な取組⑦】

平成30年度に「小規模多機能型居宅介護」が1施設整備され、介護と看護が利用できる「看護小規模多機能型居宅介護」については、令和3年度の開所予定となっており、概ね計画通りです。なお、6期の計画に盛り込まれていた「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」は平成30年4月に開所しています。

図表3-128 地域密着型サービスの整備

平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護 1施設 (平成30年4月1日)	小規模多機能型居宅介護 1施設	—	看護小規模多機能型居宅介護 1施設

#### (3) 共生型サービスの円滑な導入

令和2年現在、共生型サービスの事業所はありません。

### 2 サービスの質の確保・向上と適正な利用

#### (1) サービスの質の確保・向上

事業所への実地指導については、令和元年度は9事業所に行いました。サービスの確保の観点から、施設入所に至るまでの長期ショートステイの連続使用などが増えている現状を踏まえ、適切な利用頻度で利用できるように指導・助言の必要があります。

図表3-129 実地指導

単位：事業所

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業所数	5	6	9

資料：市くらし支援課調べ

---

## (2) 介護給付適正化事業の推進

介護給付適正化事業は、滋賀県国民健康保険団体連合会との連携の下、主要5事業に取り組んでいます。

### ア 要介護認定の適正化

要介護認定調査については、調査員の研修等を実施し、調査の適正化を図っています。介護認定審査会の委員についても、適切かつ公平・公正な審査体制の維持・向上に努めています。

### イ ケアプランの点検

ケアプラン点検において適切なアセスメントからのサービス決定ができていないか、必要以上のサービスを利用していないか確認を行っています。必要以上のサービス利用のケースがあり、点検はできていますが事業者への助言が不十分であった。また、ケアプランに関する記録様式への適切な記載ができていないケースが多く、事業者へ記載方法の指導についてより努める必要がある。

### ウ 住宅改修等の点検

住宅改修申請の工事見積書による専門職の点検、必要に応じて現場での助言を行い、適切な改修が行えるよう点検・指導の充実を図っています。住宅改修においてはリフォームとの区別をつける必要があり、不必要な改修が行われないよう専門職の判断が必要となっています。また、福祉用具貸与についても常時必要な福祉用具の選定ができるよう自立につながる利用についても指導・助言が必要です。

### エ 医療情報との突合、縦覧点検

医療情報と介護給付情報との内容確認、請求やサービスの整合性の点検、過誤調整等を行っています。

### オ 介護給付費通知

利用者に対し、介護給付費通知を送付し、サービス提供状況の確認を促しています。

### (3) 介護相談員派遣事業の推進

これまでは長浜市介護相談員とともに湖北の事業所を訪問し、相談等を実施してきましたが、平成30年度から市単独で介護相談員派遣事業を行っています。

図表 3-130 介護相談員派遣事業

区 分	平成30年度	令和元年度
相談員（人）	8	8
延べ訪問事業所数（件）	118	132
延べ介護相談員数（人）	234	250

資料：市くらし支援課調べ

## 3 人材の確保

### (1) 介護従事者の確保・育成支援

介護職員初任者研修奨励金事業や、福祉の職場説明会を実施しました。

### (2) 介護職員初任者研修奨励金事業

介護職員初任者研修を修了し、市内の介護保険サービスの事業所に3か月間継続して介護職員として勤務している人に奨励金を交付しています。

図表 3-131 介護職員初任者研修奨励金事業

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
交付者数	3	3	2

資料：市くらし支援課調べ

### (3) 湖北地域「福祉の職場説明会」の開催

福祉分野への就職活動を支援するとともに、人材の確保を図るため、毎年1回「福祉の職場説明会」を長浜市で開催しています。

図表 3-132 福祉の職場説明会

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
参加者数	16	35	30

資料：市くらし支援課調べ

## 4 家族介護者への支援

### (1) 家族への相談支援の強化

地域包括支援センター、ケアマネジャーが中心となって、関係機関と連携を図りながら家族への相談・支援を行い、関係者のネットワークを強化しました。

### (2) 介護用品支給助成事業

在宅で要介護者を介護する家族等に対し、介護用品購入費用の一定額を助成する介護用品支給助成事業は、令和元年度 859 人の利用となっています。

なお、助成内容を見直し、事業の縮小を検討する必要があります。【課題 10 を参照】

図表 3-133 介護用品支給助成事業

単位：人

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
利用者数	825	861	859

資料：市くらし支援課調べ

### (3) 地域なじみの安心事業

家族介護者が急な病気、事故などにより介護ができなくなった場合に、一時的に要支援・要介護認定者を預かる地域なじみの安心事業は、令和元年度の利用は 12 件となっています。

図表 3-134 地域なじみの安心事業

単位：件

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
件 数	23	21	12

資料：市くらし支援課調べ

## 5 在宅医療・介護の体制整備

### (1) 長浜米原地域医療支援センターとの連携

本市では、在宅医療・介護の連携推進について、長浜米原地域医療支援センターに事業の一部を委託しています。平成29年度からは、湖北圏域における医療・介護サービス資源情報をセンターの公式ウェブサイトに公開し、関係者間の情報共有を図っています。在宅医療・介護連携に関する相談支援や、医療・介護関係者の研修、地域住民への普及啓発など、本市における活用実績はまだ少なく、広く周知していく必要があります。

### (2) 在宅医療・介護連携の課題抽出と対応策の検討

在宅医療・介護連携の課題解決と対応策の検討について、湖北医師会に委託して実施しています。

### (3) 多職種連携

医療・介護関係者を対象とする多職種連携研修会については、湖北医師会に委託して毎年実施しています。

### (4) 在宅医療拠点の整備

地域包括ケアセンターいぶきにおいて、医師、介護支援専門員、介護保険サービス事業所等、多職種が集いケース会議を行ともに、事例検討会を通じて学びを深める自主グループ活動を実施しています。広く多くの参加が得られるよう、開催の在り方や周知徹底を図る必要があります。

### (5) 在宅看取りの支援

湖北医師会に委託し、出前講座や地域医療福祉フォーラムの開催、啓発物を作成し、在宅看取りについての地域住民への情報提供、啓発を行っています。本市の自宅死の割合は、年々低下傾向にあります。

図表3-135 自宅死の割合

単位：%

区分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
米原市	24.3	18.6	19.7	21.9	16.9

## 6 サービス付き高齢者向け住宅

市内に開設されているサービス付き高齢者向け住宅は次の通りです。いずれも介護保険の特定施設入居者生活介護の指定を受けていません。

図表 3-136 特定施設入居者生活介護の指定を受けていない市内のサービス付き高齢者向け住宅

施設名	事業主体	開設	所在地	定員	本市の利用者
びわ湖高齢者マンション 悠悠の館	株式会社 中居産業	昭和62年	磯	150人	27人
医療法人 緑泉会 ほたるの郷	医療法人 緑泉会	平成22年	長岡	22室 (34人)	17人

(注) 令和2年7月

# 第7期介護保険事業計画における 重点的な取組について



## 重点的な取組

第7期計画における重点的な取組の実績は次の通りです。

### 1 生きがい就労の創出

高齢者が地域社会の中で役割を持っていきいきと生活できるよう、高齢者の働く場を創出しようとする事業主体（団体・事業者）に対し、働く場の初度設備整備等に必要となる経費を支援し、働く場を創出することをねらいとした生きがい就労創出事業を実施しました。

事業の活用があったのは2件です。米原市シルバー人材センターは、坂田駅前で「田んぼっ湖カフェ」の運営を行っています。株式会社A-Heartsは、配食サービスの提供を行っています。

なお、この事業は令和元年度（平成31年度）で終了しました。

図表6-1 生きがい就労創出事業

<p><b>【要件】</b></p> <p>①市内に新たに高齢者の働く場を開設すること。</p> <p>②働く場において、5人以上の高齢者の就労が見込めること。</p> <p>③補助年度以降も継続的に働く場の事業を実施すること。</p> <p>④市内で取り組もうとする団体等に対し、ノウハウを提供すること。</p> <p><b>【補助額】</b></p> <p>1拠点、1回限り 50万円を上限とする。（補助率1/2）</p> <p>・対象となる経費：働く場の開設に伴う改修費、初度設備費等</p> <p><b>【実施期間】</b></p> <p>平成29年度から平成31年度（2019年度）まで（3か年）</p>	<p>働く場のイメージ</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者等の居場所において、新たに働く場として事業を開始</li><li>・地域にある古民家等を改修し、働く場を整備</li><li>・新たに働く場を新設整備</li><li>・コミュニティカフェの運営</li><li>・農作物等の生産、加工、販売</li><li>・工業製品の製造、加工</li><li>・生活支援サービスの提供</li></ul> <p><b>【買物支援、ゴミだし、草刈り、掃除、配食、見守り活動（高齢者・障がい者・子ども）】</b></p>
---	---

図表6-2 生きがい就労創出事業の実績

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
公益社団法人米原市シルバー人材センター	500千円	—	—
株式会社A-Hearts	—	500千円	—

## 2 地域の助け合いによる移動支援制度の構築

高齢者等の外出を支援するため、23年度に福祉有償運送を開始しました。

福祉有償運送は、介護を必要とする高齢者や障がい者など、単独では公共交通機関の利用が困難な移動制約者を対象に、NPO等が実費の範囲内であり、営利とは認められない範囲の対価によって、自家用自動車を使用して有償で行う、原則ドア・ツー・ドアの個別輸送サービスのことです。

福祉有償運送を行おうとするNPO等は、市が主宰する運営協議会で運送の必要性について合意を得たうえで、サービスを行う地域を所管する滋賀運輸支局に登録する必要があります。現在、市内に登録があるのは、米原市社会福祉協議会、社会福祉法人ひだまり、一般社団法人大野木長寿村まちづくり会の3団体です。

令和元年度までの利用者は障がいのある人の利用のみとなっています。

図表6-3 福祉有償運送の登録団体

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
福祉有償運送実施団体	1	3	3

### 3 総合事業の促進・・・地域の通いの場の拡充

本市では、平成25年度に「地域お茶の間創造事業」を創設し、高齢者自身が活躍し生きがいづくりの場と支援を必要とする高齢者や障がいのある人を見守り、支えるための地域の居場所づくりを促進してきました。このうちの4団体が平成28年度から総合事業の介護予防・生活支援サービスを開始しました。実施しているのは、地域訪問型サービス（B型）、地域寄り添いサービス（D型）です。

地域訪問型サービス事業は、掃除、洗濯、調理、買い物、配食等の生活支援を行うサービス、地域寄り添いサービス事業は、地域訪問型サービス事業と一体的に行われる移動支援や移送前後の生活支援を行うサービスです。なお、通所型サービスB型については、要介護も含めた地域の方の通いの場がお茶の間創造事業の対象であるため、一旦廃止しました。

なお、「地域お茶の間創造事業」の団体は増加しており、令和元年度は33団体となっています。

図表6-4 地域訪問型サービス・地域寄り添いサービスの実施団体

区 分	令和元年度の実施内容
公益社団法人米原市シルバー人材センター	地域訪問型サービス・地域寄り添いサービス
世継サロン	地域訪問型サービス・地域寄り添いサービス
能登瀬お茶の間クラブ	事業実績なし
一般社団法人大野木長寿村まちづくり会	事業実績なし

図表6-5 地域お茶の間創造事業

区 分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
地域お茶の間創造事業団体	24団体	26団体	33団体

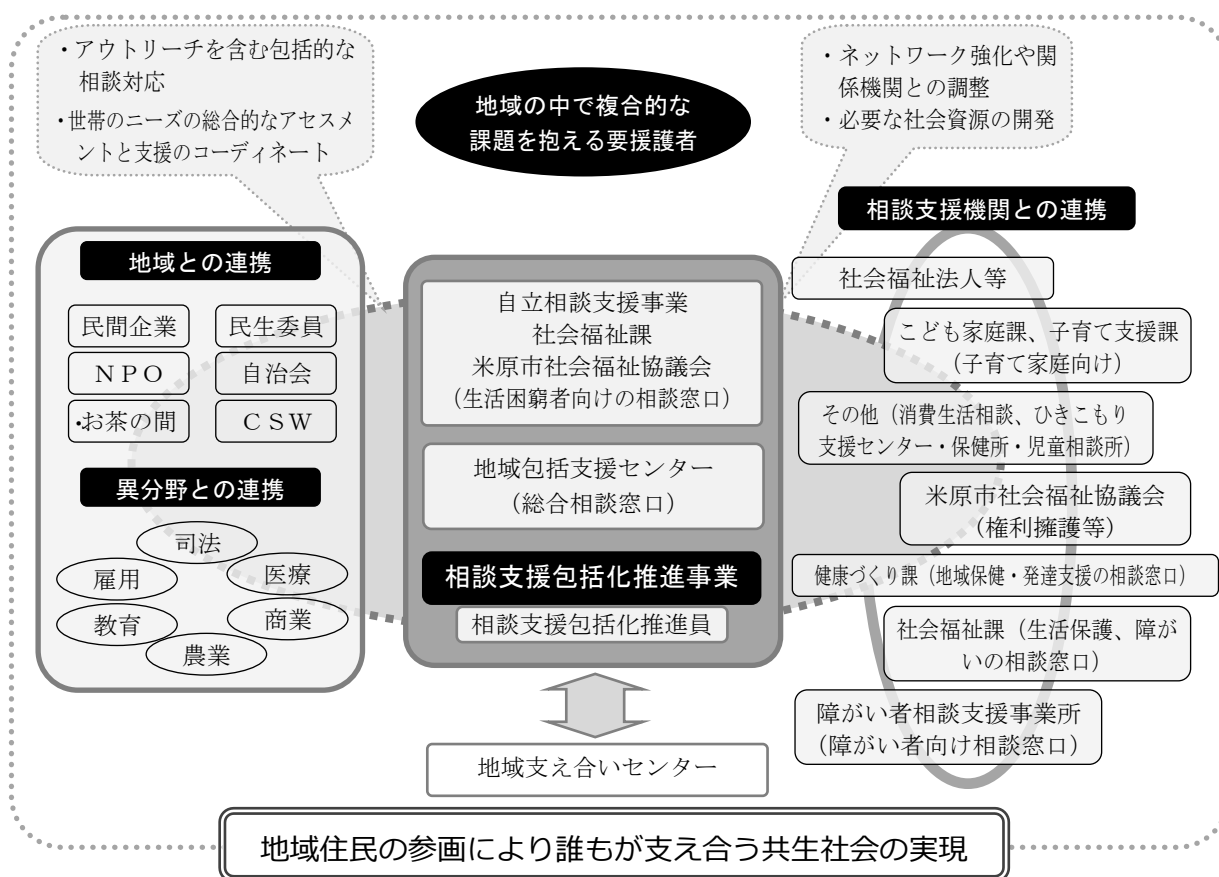
## 4 包括的な相談支援体制の整備

福祉サービスのニーズの多様化、複雑化により、高齢者、障がい者、子ども等全ての地域住民が抱える課題を包括的に受け止める総合的な相談支援体制の充実を図っています。

相談支援包括化推進事業を実施し、必要な支援をコーディネートする相談支援包括化推進員を配置し、包括的な相談支援体制を整備しました。事業は社会福祉協議会に委託しており、相談支援包括化推進員を配置しています。

複雑化・複合化した課題について、相談支援包括化推進員を中心に、適切に相談支援機関と連携を図りながら支援を行いました。

図表 6-6 相談支援包括化推進事業のイメージ



具体的には、市が実施主体となって、地域の中核となる相談機関を中心に次の取組を行います。

- ①相談者が複数の相談機関に行かなくても、複合的な悩みを総合的かつ円滑に相談できる体制を整備します。
- ②相談者本人が抱える課題のみならず、世帯全体が抱える課題を把握します。
- ③多機関・他分野の関係者が話し合う会議を開催するなど、その抱える課題に応じた支援が包括的に提供されるよう必要な調整を行います。
- ④地域に不足する社会資源を創出します。

図表 6-7 相談支援包括化推進事業

単位：件

区分	平成29年度	平成30年度	令和元年度
複合的な課題を抱える者に対する相談件数	準備期間	11	15
支援の終結件数		4	11

## 5 地域包括支援センターの機能強化

地域包括ケアの推進に向けた中核的な機関である地域包括支援センターには、包括的・継続的な支援を行う役割が求められており、第7期計画で示した通り、令和3年度から、統合庁舎の供用開始に合わせた体制の強化について検討を行いました。統合庁舎に市直営の基幹型を設置し、地域型2か所（委託）の体制としていく予定です。また、これまでの高齢者を対象とした地域包括支援センターから、障がいのある人や子どもを含めた地域で暮らす人々を対象とした断らない相談支援体制の構築を目指します。

第7期の期間内においては、3職種を（社会福祉士、主任ケアマネジャー、保健師）を常勤専従で配置しました。さらに、令和2年度には、複合・複雑化した支援ニーズに対応するため職員研修を実施しています。

また、個別の相談や支援から把握した地域課題を施策に結び付けるため、地域ケア会議を開催しています。令和元年度の実績は、個別事例に関する地域ケア会議は32回、ケース件数は計画を上回る103件と多くなっています。地域課題を検討する地域ケア会議は3回開催しました。

図表6-8 地域包括支援センターの令和3年4月からの新体制

センター名	米原市地域包括支援センター（基幹型）	米原近江地域包括支援センター（地域型）	山東伊吹地域包括支援センター（地域型）
設置場所	米原市役所山東庁舎 <sup>(※)</sup> (米原市長岡 1206 番地)	委託先	米原市役所山東庁舎予定 (米原市長岡 1206 番地)
直営／委託	直営	委託	委託
担当地域	全域	米原・近江	山東・伊吹
役割・併設	基幹型として、地域型の2つの地域包括支援センターを統括	認知症初期集中支援チーム（委託：市内全域対応）	

※米原市役所統合庁舎の供用開始後は、基幹型の地域包括支援センターを統合庁舎に移動する予定です。

## 6 総合的な認知症施策の推進

認知症高齢者の増加が予測される中、次のような総合的な認知症施策を推進しています。

図表 6-10 認知症施策

施 策	実施状況
認知症地域支援推進員	令和2年度 4人を配置
認知症初期集中支援チーム	令和元年度 認知症初期集中支援チーム検討委員会を3回開催
ちょっと相談所	令和元年度 18か所 休日相談
認知症カフェ	令和元年度 16か所、68回を開催（「ちょっと相談所」を実施するサービス事業所で実施）
認知症サポーター	令和元年度 認知症サポーター養成講座を18回開催、受講者486人、累計7,464人
認知症徘徊SOSネットワーク事業	徘徊高齢者の捜索、見守りについてのネットワークづくり。 令和2年度 協力事業所は32か所

要介護認定者のうち、「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクⅡa以上の人を認知症とすると、2,262人の認定者のうち1,682人、74.4%に認知症の症状があることとなります。また、年齢別にみると、年齢が上がるにつれ認知症の割合は高くなり、85歳以上では40%を超えています。

図表 6-11 認知症高齢者（40～64歳を含む、令和2年4月1日現在）

単位：人

区 分	要支援		要介護					合 計	人 口	人口に占める割合
	1	2	1	2	3	4	5			
40～64歳	0	1	9	7	2	0	3	22	12,497	0.2%
65～69歳	0	0	14	6	8	4	10	42	2,548	1.6%
70～74歳	2	4	31	19	20	15	13	104	2,523	4.1%
75～79歳	3	4	63	46	26	17	22	181	2,197	8.2%
80～84歳	1	9	117	88	61	37	27	340	1,733	19.6%
85歳以上	3	6	232	260	198	190	104	993	2,310	43.0%
合 計	9	24	466	426	315	263	179	1,682	23,808	7.1%
認定者数	112	225	511	553	357	305	199	2,262		
認定者数に占める割合	8.0%	10.7%	91.2%	77.0%	88.2%	86.2%	89.9%	74.4%		

（注）「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」のランクⅡa以上の人を抽出

## 7 地域密着型サービスの整備

できる限り在宅生活が続けられるよう、また、介護に加えて医療が必要になった場合にも、介護と医療が連携した体制により在宅での看取りができるよう、訪問診療、訪問看護等の在宅医療の充実を推進しています。これにより、本市の「自宅死の割合」は高くなっています。比較的持ち家率が高く、同居世帯の割合が高いことなども関係していると考えられます。平成26年に比べると7.4ポイント低下してはいますが、それでも県内の市では長浜市に次いで高くなっています。

また、地域密着型サービスについては、平成30年度に「小規模多機能型居宅介護」が1施設整備され、介護と看護が利用できる「看護小規模多機能型居宅介護」については、令和2年度中の整備となっており、概ね計画通りです。なお、6期の計画に盛り込まれていた「地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護」は平成30年4月に開所しています。

図表6-12 県内市町別の自宅死の割合

単位：%

市町名	自宅死の割合		市町名	自宅死の割合	
	平成26年	平成30年		平成26年	平成30年
大津市	15.1	13.8	高島市	13.5	14.0
彦根市	15.2	13.5	東近江市	15.2	12.7
長浜市	18.6	17.8	米原市	24.3	16.9
近江八幡市	16.5	16.3	日野町	15.8	15.1
草津市	10.3	12.3	竜王町	15.3	21.8
守山市	16.5	12.9	愛荘町	17.3	8.3
栗東市	16.0	11.0	豊郷町	14.5	7.6
甲賀市	13.5	14.0	甲良町	4.8	12.1
野洲市	13.4	10.1	多賀町	6.0	10.6
湖南市	11.0	14.5	全国	12.8	13.7

資料：厚生労働省「人口動態調査」（各年1月～12月）

図表6-13 本計画期間内の地域密着型サービスの整備目標

単位：か所

区分	小規模多機能型居宅介護		看護小規模多機能型居宅介護		認知症対応型共同生活介護		認知症対応型通所介護		地域密着型通所介護		地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	
	6期	7期	6期	7期	6期	7期	6期	7期	6期	7期	6期	7期
山 東	—	①	—	①	1		—		3		1	
伊 吹	—		—		1		—		2		—	
米 原	1		—		2		1		1		—	
近 江	1		—		1		1		4		—	
方向性	整備が進んでいない山東、伊吹圏域に整備する		整備が進んでいない圏域に整備する		現施設の稼働率を考慮し、整備しない		整備しない		整備しない		整備しない	